

新型コロナウイルス感染拡大防止のための避難場所について

これから本格的に台風が到来する時期を迎えます。新型コロナウイルスの感染が懸念される中、避難所においても**3密（密閉、密集、密接）を避ける必要**があります。

自宅で安全が確保できる場合（在宅避難）は、感染リスクを負ってまで避難所へ行く必要はありません。また、自宅以外でも、**親戚や知人宅、ホテル等への避難**も事前にご検討ください。感染リスクを減らすため、避難所以外への分散避難にご協力をお願いいたします。

また、今年は感染リスクを考慮して、風速30mを超える強い台風などの災害以外は、自主避難所の開設は控えさせていただきますので、ご理解のほどお願いいたします。なお、特別な事情のある場合については、下記の連絡先までご相談ください。

問合せ 協働まちづくり推進課(安全・安心) 電話 6576-9881 FAX 6572-9512

新型コロナ禍で災害が起きた場合は…《風水害編》

今からやっておくこと

□ ハザードマップで自分の家のある場所の災害リスクをチェック！

□ 浸水しない地域

□ 浸水が想定されている地域

*お住まいが、鉄筋造など堅牢な建物であり、ハザードマップの浸水想定以上の高さに部屋がある場合は、自宅避難も可能です。

*安全な親類宅や知人宅に避難することも可能です。

自宅避難

親戚・知人宅避難

避難所

□ 毎日の体温をチェックなど健康管理も欠かさずに！

災害発生!!

一週間分の備蓄を！



原則「自宅で避難」!!
避難勧告・避難指示が出れば避難！

マスク・体温計・
消毒液も忘れずに！

自宅避難が難しいとき

濃厚接触者

区指定避難所

感染していない方

親戚や友人宅などへ

避難前に体温チェック！



コロナ陽性者

指定医療機関
宿泊療養施設

避難所

熱咳等症状のある方

感染予防のため
避難スペースを分離します！

症状のない方



避難所開設・運営ガイドライン別冊(コロナ禍版) 避難スペース分離・3密防止

